

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人 西浦会 京阪病院 新病棟	階数	地上2F
建設地	大阪府守口市八雲中町3丁目13番1	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年8月1日
敷地面積	10,684 m ²	作成者	東畑建築事務所
建築面積	1,856 m ²	確認日	
延床面積	2,486 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 84% (154 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 84% (154 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 84% (154 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	建物の耐震化及び病棟環境の向上を目的とした病棟の建替計画。既存よりも駐車台数や緑地面積を増やす計画とすることで、利用者の利便性やアメニティに配慮している。	その他 特になし
Q1 室内環境	開口部は遮音等級 T-2 のサッシュを使用し、外部騒音に対して配慮。 病室において、大きな窓を標準的に設けることで、採光と換気に配慮した適切な環境の創出を図る。	Q3 室外環境(敷地内) 外構計画における積極的な緑化やピロティを可能な限り確保することで、利用者のアメニティや利用環境の向上を図っている。
LR1 エネルギー	共用部において積極的に窓を設置し、採光を確保する計画としている。日差しを遮るバルコニーの設置などにより、建物の熱負荷を抑制している。	LR3 敷地外環境 周辺の温熱環境が悪化しないよう、敷地内地表面の緑化を施すことや、既設建物から十分な空きを取って建物を配置し風の通り道を確保している。交通負荷抑制のために十分な駐車台数・駐輪台数を確保している。
Q2 サービス性能	間仕切り壁を乾式とし、階高も適切に確保することで、将来対応のフレキシビリティに対応した計画としている。	
LR2 資源・マテリアル	節水型便器の採用や、躯体材料や外構舗装材、内装床材などにはリサイクル材の使用により、環境に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0063

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	医療法人 西浦会 京阪病院 新病棟					
		建設地	大阪府守口市八雲中町3丁目13番17号					
		用途/区分	病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.6	4		
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	4			
			住戸・宿泊	3.0				
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						4.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						4.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						4.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.4
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								